

## 露地栽培に向くニラの品種比較を行っています

露地ニラ栽培において、高単価が期待される需要期の10～11月に定植1年目から収穫可能な品種として、「グリーンロード」が有望であることが分かりました。

露地ニラ栽培は、軽量軽作業で生産者ニーズに合った品目であることから、女性や高齢者の間で栽培が拡大しています。しかし、通常、植え付け1年目は株養成を行い、定植2年目の4～6月から収穫となるため単価安が課題となっており、現場からは高単価となる需要期の10～11月に定植1年目から収穫できる作型の確立が望まれています。

そこで、市販品種の中から生育旺盛な品種を選んで調査した結果、「グリーンロード」が生育旺盛でかつ出荷規格（葉長40cm）を十分に満たしたことから、定植1年目から出荷可能であることが分かりました。

今後、最適播種期及び定植2年目以降の収量、抽台等を調査する予定です。



「グリーンロード（GR）」 「スーパーグリーンベルト（SGV）」 「パワフルグリーンベルト（PGV）」

写真1 定植1年目の生育量

（ ）内は品種の略称（以下、同様）

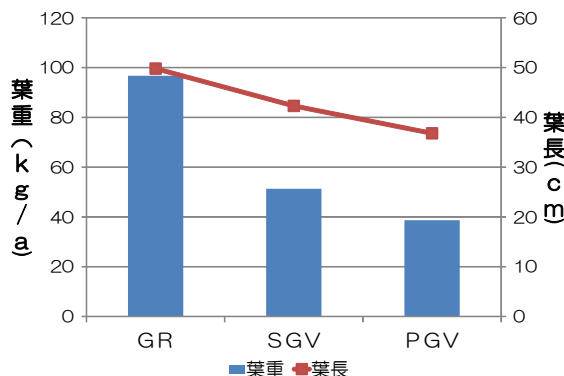


図1 定植1年目の葉重と葉長

### <耕種概要>

播種日：平成24年 4月11日  
 育苗：セルトレイ育苗（200穴）  
 1穴3～4粒播種  
 定植日：平成24年 6月11日  
 栽植株数：6.6株/m<sup>2</sup>（1株3本立ち）  
 写真撮影日：平成24年11月 2日  
 生育調査日： // 11月 9日

※本課題はJA鳥根おちからの要望を基に実施しました。

問い合わせ先：栽培研究部野菜科（担当：金森健一・石津文人） TEL 0853-22-6993

E\_mail:nougi@pref.shimane.lg.jp